## 平成30年度調達等合理化計画の実施状況に対する自己評価

評価指標	実施した取組内容及びその効果	目標の達成状況	実施において明らかになった課題 と今後の対応方針
【2(1)】 一者応札件数割合:10%未満	予定価格の金額に応じた競争参加資格要件の緩和を行ったほか、公告期間の延長(従前の原則10日以上→20日以上を確保)を実施し、数多くの業者が入札等に参加できるように競争性の確保に努めた。 一者応札の件数割合は減少した。	平成29年度:6件/63件(9.5%) 平成30年度:2件/70件(2.9%)	手続きを早期に行うようにすると ともに、仕様作成の担当ととするに 情報共有を図っている 。 また案件により業者への積極的る。 また案件により業の方法を用いる 一位様における特定性の排除。 入札参加資格要件の緩和 会場借上げや契約を秘密にする必 要がある契約 → 随意契約
【2(2)】 前年度比単価・経費の節減額	性教育会館及び本機構の4法人で、物品の共同調達を実施した。 30年度非常食を新規実施 また、筑波大学等8機関で物品の	4法人においては、6業務について共同調達を実施した。調達数量をまとめたことによるスケールメリットが働き、非常食、コピー用紙、トイレットペーパー等の単価の抑制に効果があった。 経費の節減を図ることができた	
【3(1)】 監査室による点検実績等	監査、実地監査により実施した。 特に、会計監査については、4 法人の中から監査員を加えて実施 した。	国立特別支援教育総合研究所から 監査員が1名参加。 ・平成30年3月 業務監査実施 ・平成30年2~3月 会計監査実施	る内部監査、他法人の監査員を加 えて実施することとしている。 監査の実施時期、実施方法につい
【3(2)】 契約検証チームによる点検実績等	契約検証チームによる点検を実施した。 会計規程における「随意契約によることができる事由」に該当する 案件の点検を行ったほか、より競	平成30年9月 7日 (第1回) ・免許状更新講習業務支援システム機能追加作業等 ほか1件	相手方が一者しかあり得ないの か、参加資格や条件が適切か、仕 様内容等が妥当か等について引き

【3(3)】 不祥事の発生の未然防止・再発防 止のための取組の実施結果	課達に関して、正の発生の ・ 本学の ・ 本学の ・ 本学の ・ 本学の ・ 本学の ・ 本学の ・ 本学の ・ 本学の ・ はいっした。 ・ はいっした。	今後も必要に応じて牽制体制の整備や規程及びマニュアル等の見直しを行い、周知徹底を図るとともに情報共有に努めていくこととする。